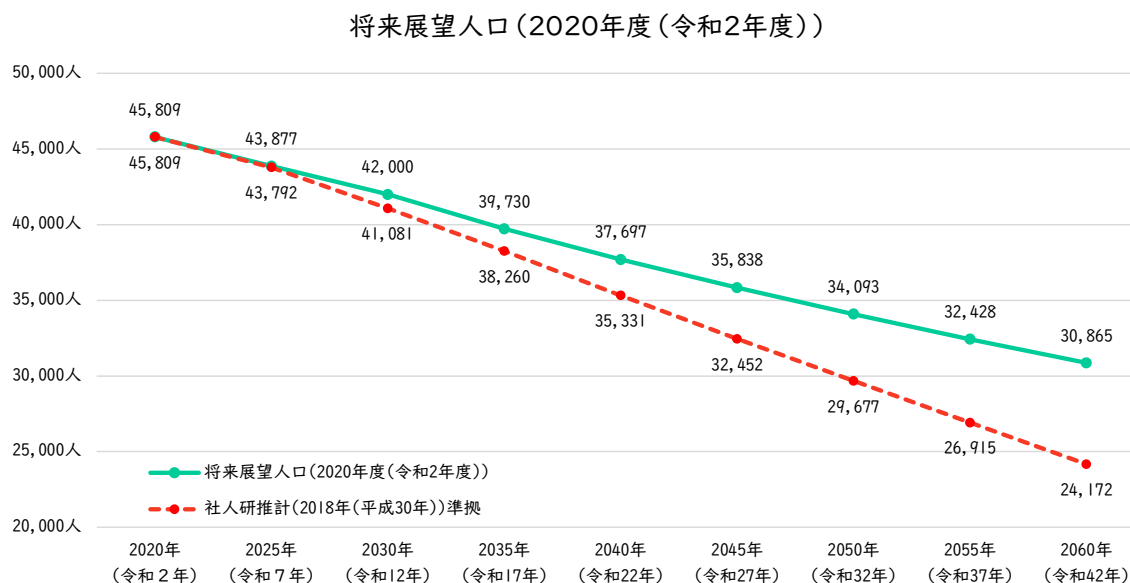


将来展望人口（人口ビジョン）の見直しについて

1 2025赤穂市人口ビジョンの検証

(1) 現行の将来展望人口

2021年度（令和3年度）に策定した「赤穂市人口ビジョン」では、人口減少策を講じることにより、2060年（令和42年）において30,000人程度の人口規模を維持することとしていました。



(2) 現状実績（推移）と現行計画の比較（5か年計）

「2025赤穂市総合戦略」の期間（2020年－2025年）で、以下のように人口は推移しました。

- ・総人口

5年間で3,036人減少し、計画値より1.5%の減少となっています。

- ・自然増減

出生数の減等に伴い減少数が拡大傾向にあり、計画値よりも20.3%の減少となっています。

- ・社会増減

2021年（令和3年）から減少数は縮小傾向にありますが、計画値より1,019.8%の減少となっています。

	目標値(人)	現状値(人)	目標値との差(人/%)
人口	43,877	43,218	-659/-1.5
自然増減	-1,851	-2,227	-376/20.3
社会増減	-81	-907	-826/1,019.8

2 2025赤穂市人口ビジョンの見直し（案）

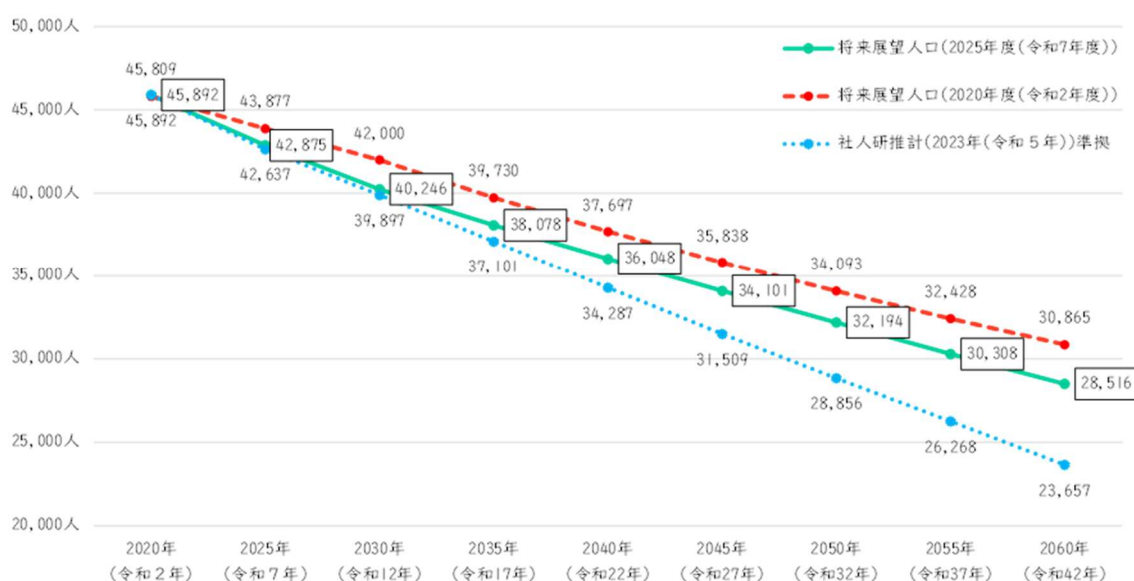
以上のような人口動態の推移、2023年（令和5年）に示された新たな社人研推計値、

国における「地方創生2.0」、人口戦略会議「人口ビジョン2100」を踏まえ、将来展望人口を次の想定の下、新たに設定することとします。

- ◆合計特殊出生率については、最終目標に向け段階的な目標設定を行い、長期的には2060年(令和42年)に人口置換水準の2.07とし、2040年(令和22年)に1.6、2050年(令和32年)に1.8を目指す。
- ◆2035年(令和17年)までに転出入(社会増減)が均衡となるように設定。

目標:2030年(令和12年)に人口40,000人以上を維持

将来展望人口(2025年度(令和7年度))



将来展望人口の設定(単位:人)

	2020年(令和2年)	2025年(令和7年)	2030年(令和12年)	2035年(令和17年)	2040年(令和22年)	2045年(令和27年)	2050年(令和32年)	2055年(令和37年)	2060年(令和42年)
総人口	45,892	42,875	40,246	38,078	36,048	34,101	32,194	30,308	28,516
合計特殊出生率		1.18	1.32	1.46	1.60	1.70	1.80	1.94	2.07
自然増減		-2,082	-2,223	-2,168	-2,030	-1,947	-1,907	-1,886	-1,792
社会増減		-935	-406	0	0	0	0	0	0

年齢3区分別推計

